



みなみながさき

豊島区立南長崎幼稚園
園長 見米 葉記

保・幼・小の連携の必要性を考える（その①）

——まずは小学校との連携活動から——

幼稚園経営支援員 飯島光正

サツマイモの苗植えに行ってきました

昨年度、豊島区では、「幼児教育のあり方検討委員会」が組織され、幼児期における質の高い教育の構築が求められました。幼児期は遊びを通して、小学校以降の学びの願いを培い、小学校ではその学びの芽生えをさらにさらに伸ばしていく必要があります。

南長崎幼稚園では、従来から椎名町小学校との交流が盛んで、毎年5月になると「サツマイモの苗植えを椎名町小学校の2年生と一緒にしています。

今年も5月8日にさくら組、たんぽぽ組の園児全員が椎名町小学校の学校菜園に行ってきました。2年生のお兄さんやお姉さんが園児1人に6～7人のグループを組み、一緒にサツマイモの苗を植えました。園児は楽しそうに小学生との交流活動を終えることができました。



さあ幼稚園出発です。行ってきましたーす。



椎名町小学校の学校菜園はとても広いです。



こうやってサツマイモの苗を植えるんだ。

6月の指導のねらい

- 4歳児**
- ・興味を持った遊びに自分から取り組み、友達と関わりながら遊ぶ楽しさを感じていく。
 - ・保育者や友達と一緒に身体を動かしたり、リズムや歌声を合わせたりすることを楽しむ。
 - ・手洗い、うがい、着替え、お弁当の支度などのやり方が分かり、自分でしようとする。
- 5歳児**
- ・自分なりに目的をもち、繰り返し考えたり試したりすることを楽しむ。
 - ・友達と工夫して遊具を組み合わせたり、身近な素材で作ったりして、遊びのイメージを実現する楽しさを味わう。
 - ・グループの友達とする活動が分かり、自分の考えを言ったり、友達の考えを聞いたりしながら一緒に取り組む。